

# 2019年度 事業報告書

2019年4月 1日から

2020年3月31日まで

学校法人清友学園

## 1. 法人の概要

名 称 学校法人 清友学園（昭和16年4月2日法人設立）

代表者 理事長 日根野 文三

住 所 八尾市柏村町1丁目57番地

電 話 072-922-2023

FAX 072-922-2035

設置する学校

住 所 八尾市柏村町1丁目57番地

名 称 清友幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 15名

理事会 12回開催

評議員会 4回開催

職 員 33名

## 2. 事業の概要

（ 清友幼稚園 ）

《教育方針》

心身共に健康で情操豊かな子どもに育む。

誰とでも手をつなぎあっていける子どもに育む。

人の話をしっかり聞ける子どもに育む。

《教育内容》

広い園庭で各学年が交流して思いっきり走り、毎朝、全園児そろって体操、する。園庭のあちこちに自生している花や木、畑に育つ植物を観察し、食べ物として味わう。毎日、下校前に、静かに座って「おはなし」を聞く。

	3歳児		4歳児		5歳児		満3歳児	
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数
定 員	5	120	4	140	4	140		
2018年度	4	81	3	72	3	77		
2019年度	4	90	3	72	3	72		
2020年度	3	73	3	80	3	74	1	20

《教育時間》

月・火・木・金曜日 午前9時00分～午後2時

水曜日 午前9時00分～正午

《保育時間》 2号認定児

月・火・水・木・金・土曜日 午前7時30分～午後6時30分

《諸経費》

項 目	金 額	
入園準備金	30,000円	
施設設備費	10,000円	
保護者負担金	八尾市等が定める金額	
施設協力費（月額）	1,000円	
教育充実費（月額）	1,000円	
教材費	1,000円	
行事費	1,000円	
給食費（2号認定給食利用者）	4月～9月 1,600円	10月～ 270円×日数

《預り保育の時間及び費用》 1号認定児

月～金曜日（水曜日を除く）午後2時～午後5時 1回500円

水曜日、短縮時 正午～午後2時 1回250円

（夏・冬休み預り保育あり）

（就労保護者のみ 早朝預り・延長預り 月額制

午前7時30分～午前8時30分、午後5時～午後6時30分）

《行事予定》

入園式、こどもの日、親子遠足、飯盒炊爨（年長）、どろんこ遊び、プール遊び、七夕会、夏まつり、運動会、遠足、音楽会、クリスマス会、絵画展、卒園式

《施設関係》

園地面積 5,967㎡ 運動場面積 3,285㎡

園舎面積 2,907㎡（遊戯室266㎡、図書室64㎡）

警備員室壁画・銘板、塀工事

《設備関係》

一輪車練習スタンド、ちびっこまきば、小さなログハウス、くまさんポンプとまるたの水路、空気清浄機2台、防災用発電機

《事業報告》

2019年度の事業は、前年度より園児数が13名増え、また保護者の協力を得ながら役職員の真摯な努力により、着実に運営することができた。

2020年2月29日、新型コロナウイルス感染抑制のため、3月2日から全国すべての小・中・高・特別支援校の臨時休業が発表された。更に、4月7日、緊急事態宣言が7都府県に発令され、感染数の推移から、休業期限が5月末まで延長された。当園は本年度より幼稚園型認定こども園に移行しており、この間も大阪府・八尾市の要請を受け、保育の必要な園児の受入れに努めた。この先、予断を許さない状況が続くが、当園としては、保育再開後、感染防止に努めながら、如何に園児がスムーズに過ごせるか受け入れ態勢の整備を進めると共に、保護者と連携しながら準備を怠らないようにする。

一方、新型コロナウイルスの蔓延のため、経済状況は、大恐慌時以上に悪化している。3密・自粛の影響で、飲食業・鉄道業・航空業・旅行業等のサービス業の休業実施で、失業が大幅に増加しているため、昨年来の人手不足感が大幅に緩和されている。今まで、教員免許取得者が流れていた業界においても、採用抑制となることから、教職員採用においては、やや改善することが期待できる。

以上のことを踏まえ、当園としては、昨年10月より実施されている幼児教育の無償化への理解を深め、事業継続を踏むため、八尾市の乳幼児数の推移及び2歳児の無償化の影響を考慮し、事業予想、教職員採用計画を改めて練り直し、リスク管理体制を整備する。合わせて、監督官庁の調査に、しっかりと対応出来るよう、事務組織を見直し、事務管理体制の確立に努める。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定することとした。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が154,198千円（前年度126,766千円）、教育活動支出計160,027千円（前年度143,374千円）、教育活動収支差額▲5,829千円（前年度▲16,607千円）、経常収支差額比率▲3.76%（前年度▲13.07%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、67.40%（前年度71.68%）となり、翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りに問題ない。

当年度の卒園児は74名であるので、同数以上の園児確保を目指す。

### 3. 財務状況

別紙参照